

津怪土佐守成康士となり寛永八年未九月
六日死戒名自照院成親貞心公大居士を
同被地よあめて寛文八年辰巳正月九日
死戒名廣光院成檀山王松大居士を
今よ古作守成康中によりとて本家の醫家
よて塚に百石を刻ハ檀山を名あて塚を石
を年泉藏寺に來り常光院のる五十年忌
祝行せしとそ

一八幡宮

同村より武藏家の信守之社に六石七斗

足平一石之面地有苗村より

一地蔵堂

同村よりありおに禿舎あり山王を祠古
社地ハ村の下にふあり今ハ畑となれり古
館之築設の社よりて上山王と稱せしとそ
下山王と稱し今ハ川向青山村といふ
あり館之没後以後成社たふ多葉も絶果社
地も僅よ存せ上山王を地蔵堂の前に遷し
下ハ館之没後の後とそ

一御川館